

# エコアクション21 環境活動レポート

【運用期間 平成28年10月1日～平成29年9月30日】



発行:平成 30年 3 月 1 日

株式会社 アーバン

# 目 次

1. 事業概要	1
2. 全体組織図と実施体制	6
3. 環境方針	7
4. 環境目標と実績	8
5. 環境目標の達成状況評価	12
6. 環境活動計画	13
7. 環境活動計画の評価と次年度の取組内容	15
8. 問題点の是正処置及び予防処置の結果	17
9. 環境関連法規等への違反・訴訟等の有無	18
10. 代表者による全体の評価及び見直し	21



# 1. 事業概要

## 1-1 事務所及び代表者

株式会社 アーバン  
代表取締役 織戸 卓祥

## 1-2 所在地

本社・工場 静岡県御殿場市深沢1682-1  
TEL 0550-83-4890 FAX 0550-83-4838  
相模原営業所 神奈川県相模原市緑区二本松2-35-3  
三島支店 静岡県三島市梅名11-1  
(三島支店は、平成29年度から対象範囲にする)

## 1-3 資本金

2,000万円

## 1-4 設立年月日

平成4年10月6日

## 1-5 決算月

10月1日 ~ 9月30日



## 1-6 環境管理責任者氏名・連絡先

環境管理責任者 統括部長 小島 昌高  
環境管理担当者 鈴木 千津子  
連絡先 TEL 0550-83-4890  
FAX 0550-83-4838

## 1-7 事業内容

産業廃棄物の収集運搬  
産業廃棄物の中間処理及びリサイクル事業  
解体工事一式  
一般土木工事一式  
コンクリートリサイクル材販売



## 1-8 事業規模

売上高	493 百万円	(平成29年度実績)
売上高	585 百万円	(平成28年度実績)
売上高	675 百万円	(平成27年度実績)
受託した産業廃棄物処理量		
収集運搬量	70,526.86 t	(平成29年度実績)
中間処理量	70,526.86 t	(平成29年度実績)
収集運搬量	47,218.64 t	(平成28年度実績)
中間処理量	47,218.64 t	(平成28年度実績)
収集運搬量	45,038.50 t	(平成27年度実績)
中間処理量	45,038.50 t	(平成27年度実績)
従業員数	35 名	
敷地面積	8,884 m <sup>2</sup>	(本社工場)
建屋面積	2,657 m <sup>2</sup>	(本社工場)

1-9 許可証一覧

① 産業廃棄物処分業

事業範囲	中間処分		
行政	許可番号	初年度許可年月日	有効年月日
静岡県	02221002647	平成 8 年 12 月 24 日	平成 33 年 12 月 23 日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類・紙くず・木くず・繊維くず		

② 産業廃棄物収集運搬業

行政	許可番号	初年度許可年月日	有効年月日
静岡県	02201002647	平成 5 年 4 月 26 日	平成 30 年 4 月 25 日
許可品目	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ		
行政	許可番号	初年度許可年月日	有効年月日
東京都	1300002647	平成 14 年 6 月 3 日	平成 34 年 6 月 2 日
許可品目	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、		
行政	許可番号	初年度許可年月日	有効年月日
山梨県	01900002647	平成 6 年 5 月 12 日	平成 31 年 5 月 11 日
許可品目	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず		
行政	許可番号	初年度許可年月日	有効年月日
神奈川県	01402002647	平成 5 年 1 月 29 日	平成 35 年 1 月 18 日
許可品目	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類、		
行政	許可番号	初年度許可年月日	有効年月日
愛知県	02300002647	平成 5 年 7 月 30 日	平成 30 年 7 月 29 日
許可品目	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、		
行政	許可番号	初年度許可年月日	有効年月日
兵庫県	02804002647	平成 24 年 6 月 22 日	平成 34 年 6 月 21 日
許可品目	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、		

③ 特別管理産業廃棄物収集運搬業

行政	許可番号	初年度許可年月日	有効年月日
静岡県	02251002647	平成 18 年 11 月 24 日	平成 33 年 11 月 23 日
許可品目	特定有害廃石綿等		
行政	許可番号	初年度許可年月日	有効年月日
神奈川県	01452002647	平成 23 年 12 月 1 日	平成 33 年 11 月 30 日
許可品目	廃石綿等		

## 1-10 収集運搬車両一覧



施設名	型式	自動車登録番号	規模・能力(積載量)	備考
いすゞ	ダンプ	富士山 103 さ 3366	3,000 kg	
ニッサンディーゼル	脱着装置付コンテナ専用車	沼津 100 は 861	11,300 kg	
ニッサンディーゼル	脱着装置付コンテナ専用車	沼津 100 は 645	10,700 kg	
トレクス	コンテナフルトレーラ	沼津 100 ゆ 28	11,000 kg	
三菱	キャブオーバー	沼津 100 さ 6213	3,000 kg	
ニッサンディーゼル	キャブオーバー	沼津 100 さ 7340	2,350 kg	
ニッサンディーゼル	脱着装置付コンテナ専用車	沼津 100 さ 7493	2,650 kg	
ニッサンディーゼル	ダンプ	沼津 100 は 1364	8,600 kg	
UDトラックス	脱着装置付コンテナ専用車	富士山 103 は 188	5,700 kg	
いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	富士山 103 さ 2012	3,900 kg	
UDトラックス	キャブオーバー	富士山 103 は 190	4,400 kg	
UDトラックス	ダンプ	富士山 103 は 193	8,300 kg	

## 1-11 保有重機一覧



施設名	種類及び名称	規模・能力	台数	備考
日立建機	ZW 100 ホイルローダ	1.1-1.6 m <sup>3</sup>	1 台	
日立建機	ZX 120 油圧ショベル	0.4 t	1 台	
日立建機	ZX 125 油圧ショベル	0.45 t	1 台	
日立建機	ZX 200 油圧ショベル	0.7 t	3 台	
日立建機	ZW 180 ホイルローダ	2.2-3.3 m <sup>3</sup>	1 台	

## 1-12 処理施設の概要

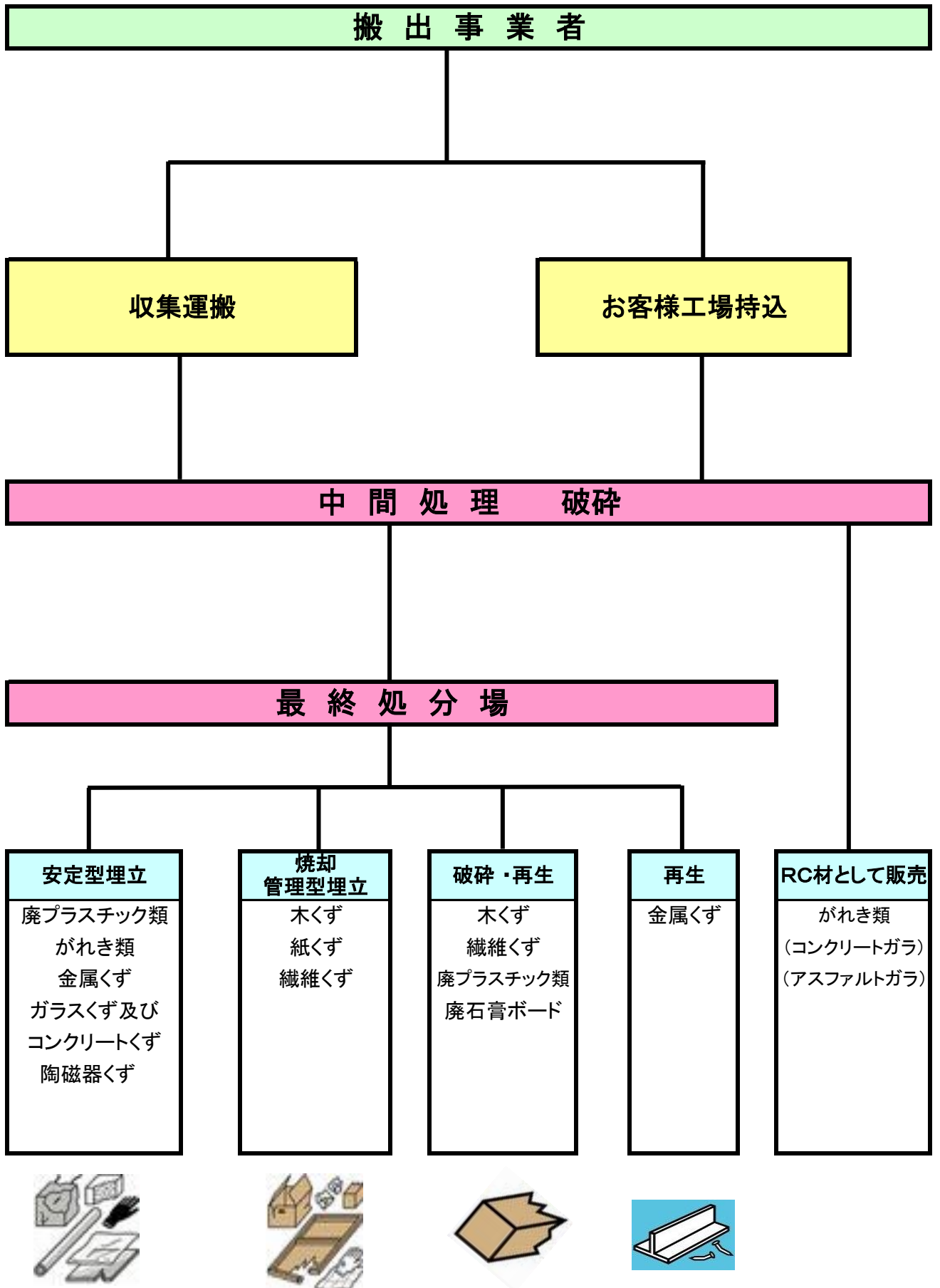
### ① 破砕施設

施設の種類	破砕施設	
設置場所	静岡県御殿場市深沢字前原1682番2 外1筆	
品目・処理能力	がれき類	344.00 t/日

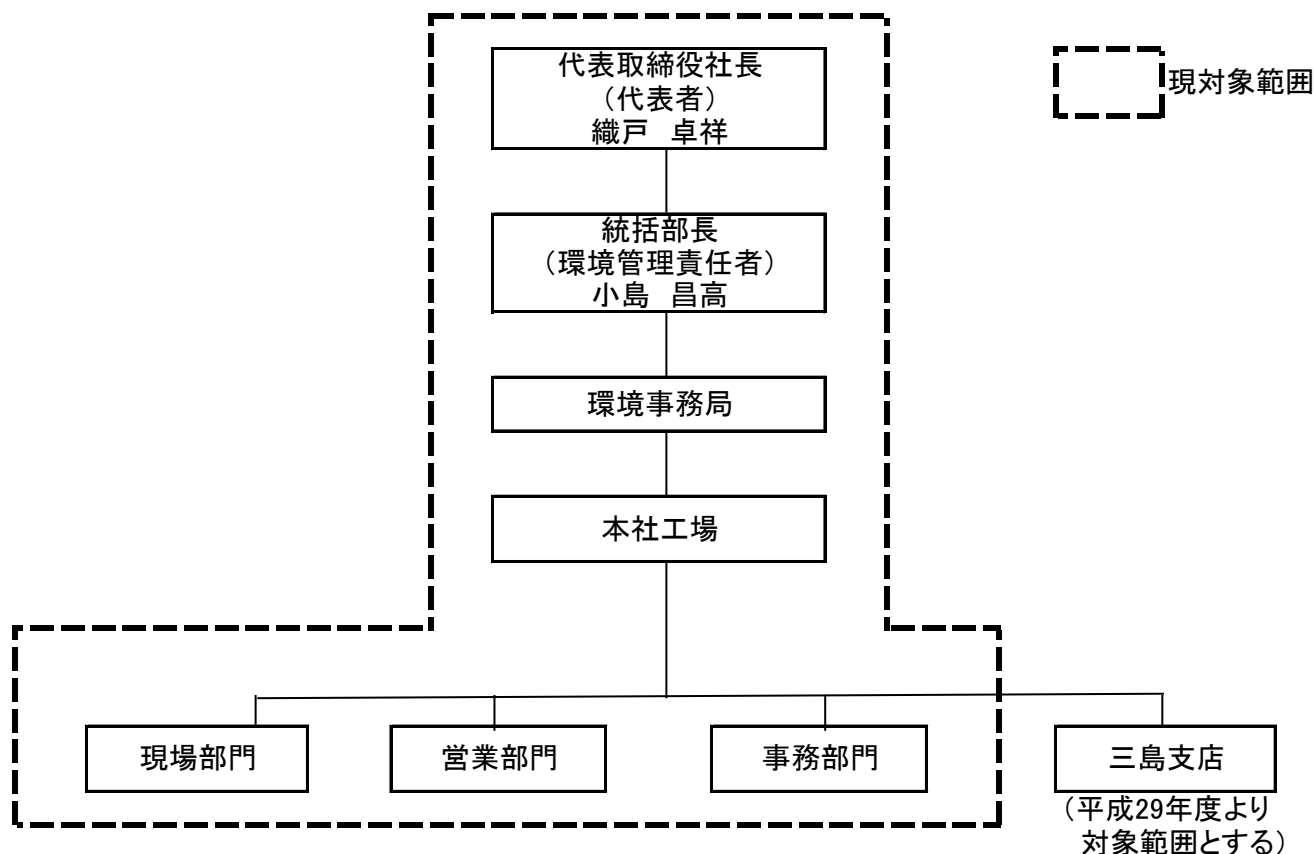
### ② 破砕施設 中間処理

施設の種類	破砕施設	
設置場所	静岡県御殿場市深沢字前原1672番6 外1筆	
品目・処理能力	廃プラスチック類	52.25 t/日
	金属くず	45.00 t/日
	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	221.40 t/日
	がれき類	482.40 t/日
	紙くず	39.60 t/日
	木くず	81.00 t/日
	繊維くず	41.40 t/日

1-13 産業廃棄物処理フローシート



## 2. 全体組織図と実施体制



担当	役割・責任・権限
代表者(代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクション21に関する代表責任者</li> <li>・エコアクション21実施における人材、設備、費用を用意する</li> <li>・環境管理責任者の任命を行う</li> <li>・環境方針の制定、改訂及び全社員への周知</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施する</li> <li>・環境マネジメントシステムの承認</li> </ul>
環境管理責任者(取締役)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステムの全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する</li> <li>・代表者への報告</li> <li>・環境マネジメントシステムの構築、実施及び運用管理</li> <li>・環境事務局の文書作成案に対するチェック及び改訂の指示</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクション21における文書の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境目標及び環境活動計画案の作成</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック</li> <li>・取組に必要な場合の手順書案</li> <li>・事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策の策定</li> <li>・環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施</li> </ul> </li> <li>・環境活動レポートの作成</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部門における環境マネジメントの実施</li> <li>・各記録の実施</li> <li>・問題点のチェック及び予防処置の実施</li> <li>・緊急事態の試行及び訓練の実施</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の確認・理解</li> <li>・各個人における環境マネジメントシステムの実施</li> </ul>



## 3. 環境方針

### 株式会社 アーバン 環境方針

#### 【基本理念】

株式会社アーバンは、産業廃棄物の中間処理業、収集運搬業として、常に環境の保全を意識し、環境に配慮した行動に努め、社会に貢献します。

#### 【基本方針】

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な活動を展開します。

- 1 受託した廃棄物の再資源化に取組み、リサイクル率の向上に努めます。
- 2 環境関連法規及び条例等を遵守します。
- 3 収集運搬車及び営業車のエコドライブを実施し、二酸化炭素排出量の削減・水使用量の節水に努めます。
- 4 環境に配慮した車両の導入・事務用品を主体とするグリーン購入の推進。
- 5 排出事業者に対して、廃棄物の分別指導を行い、リサイクル率の向上に努めます。
- 6 環境活動レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを積極的に行います。

環境方針は全従業員に周知し、一般に公開します。

株式会社 アーバン  
代表取締役 織戸 卓祥 (印)

制定 平成 25年 9月 1日  
改定 平成 27年 9月 1日

## 4. 環境目標と実績

### 1 中期目標

#### 参考値

項目	単位	基準値(実績)	中期環境目標		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 二酸化炭素総排出量	kg-CO2	430,130.08	425,828.78	421,570.49	417,354.79
		削減率%	-1	-2	-3
購入電力	KWh	128,559.00	127,273.41	126,000.68	124,740.67
		削減率%	-1	-2	-3
ガソリン使用量	リットル	8,941.66	8,852.24	8,763.72	8,676.08
		削減率%	-1	-2	-3
軽油使用量	リットル	132,084.18	130,763.34	129,455.70	128,161.15
		削減率%	-1	-2	-3
② 再資源化等量	t	44,688.85	45,135.74	45,587.96	46,043.84
		増加率%	+1	+2	+3
リサイクル率	%	94.64	90%以上	90%以上	90%以上
		リサイクル率%	-	-	-

#### 原単位目標予実績

項目	単位 (原単位)	基準値(実績)	中期環境目標		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 二酸化炭素総排出量	kg-CO2/t	9.11	9.02	8.93	8.84
		削減率%	-1	-2	-3
購入電力	KWh/t	2.72	2.69	2.67	2.64
		削減率%	-1	-2	-3
ガソリン使用量	リットル/t	0.19	0.18	0.17	0.16
		削減率%	-1	-2	-3
軽油使用量	リットル/t	2.80	2.77	2.74	2.71
		削減率%	-1	-2	-3
② 再資源化率	率	0.95	0.96	0.97	0.98
		リサイクル率%	+1	+2	+3

※ 環境目標は、平成28年度を基準年とした基準年比を示す。

※ 総排水量は、井戸水を使用している為、目標値を設定せず、活動のみとする。

※ 事務用品のグリーン購入は、ほぼ100%達成している為、活動のみとする。

※ 購入電力の二酸化炭素総排出量の排出係数は、0.488(鈴与商事)を使用する。

※ 二酸化炭素排出量及び再資源化率の基準値は、原単位(産業廃棄物処理量1t当たりの量)で算出する。

※ 平成28年度(基準値)の産業廃棄物処理量は、47,218.64tである。

## 2 短期目標と実績

平成28年10月～平成29年9月

### 参考値

項目	単位	基準値(実績)	短期目標	短期実績	評価
		平成28年度 (10月～9月)	平成29年度 (10月～9月)	平成29年度 (10月～9月)	
① 二酸化炭素総排出量	kg-CO2	430,130.08	425,828.78	431,540.49	△
		削減率%	-1	+0.3	
購入電力	KWh	128,559.00	127,273.41	134,608.00	△
		削減率%	-1	+4	
ガソリン使用量	リットル	8,941.66	8,852.24	7,531.74	○
		削減率%	-1	-15	
軽油使用量	リットル	132,084.18	130,763.34	132,744.10	△
		削減率%	-1	+0.5	
水使用量	m <sup>3</sup>	1,254.80	-	1,239.30	-
		削減率%	-	-	
② 再資源化等量	t	44,688.85	45,135.74	68,753.28	○
		増加率%	+1	+53.85	
リサイクル率	%	リサイクル率%	90%以上	97.49	○
③ グリーン購入	%	48.27	-	98.00	-

### 原単位目標予実績

項目	単位 (原単位)	基準値(実績)	短期目標	短期実績	評価
		平成28年度 (10月～9月)	平成29年度 (10月～9月)	平成29年度 (10月～9月)	
① 二酸化炭素総排出量	kg-CO2/t	9.11	9.02	6.12	○
		削減率%	-1	-32	
購入電力	KWh/t	2.72	2.69	1.91	○
		削減率%	-1	-30	
ガソリン使用量	リットル/t	0.19	0.18	0.11	○
		削減率%	-1	-42	
軽油使用量	リットル/t	2.80	2.77	1.88	○
		削減率%	-1	-32	
② 再資源化率	率	0.95	0.96	0.97	○
		増加率%	+1	+2	

※ 環境目標は、平成28年度を基準年とした基準年比を示す。

※ 総排水量は、井戸水を使用している為、目標値を設定せず、活動のみとする。

※ 事務用品のグリーン購入は、ほぼ100%達成している為、活動のみとする。

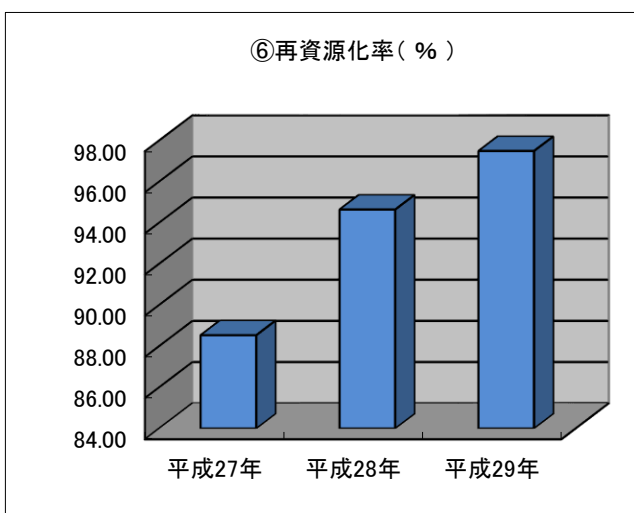
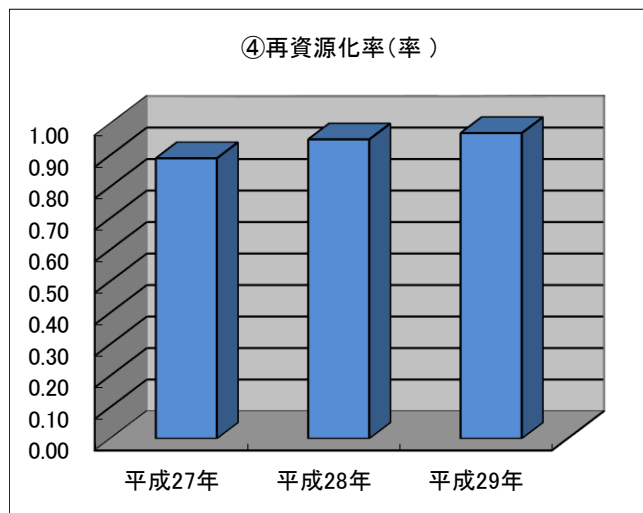
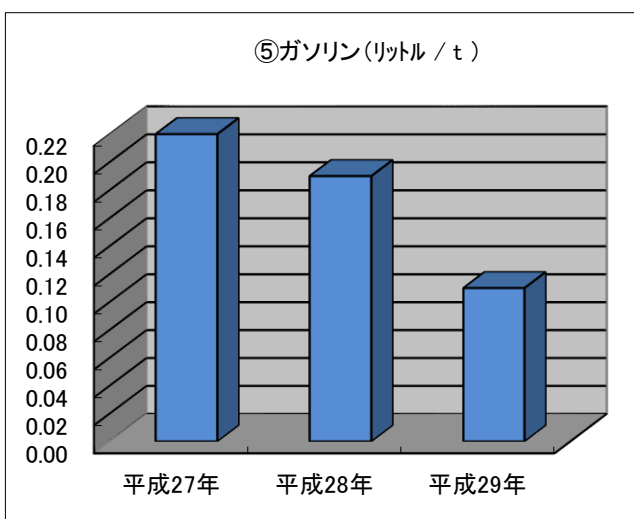
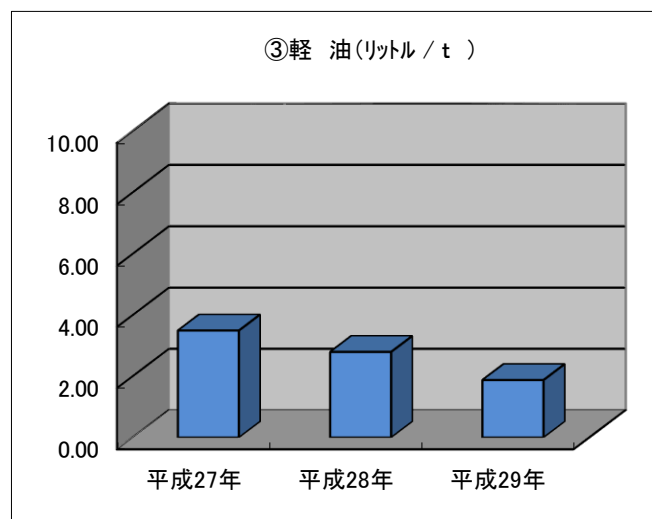
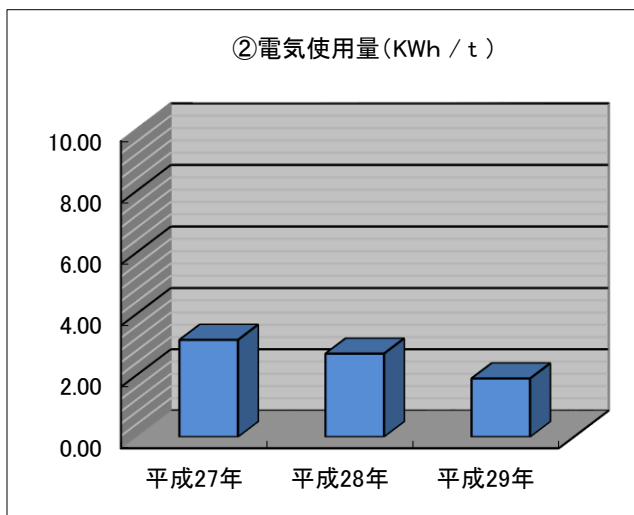
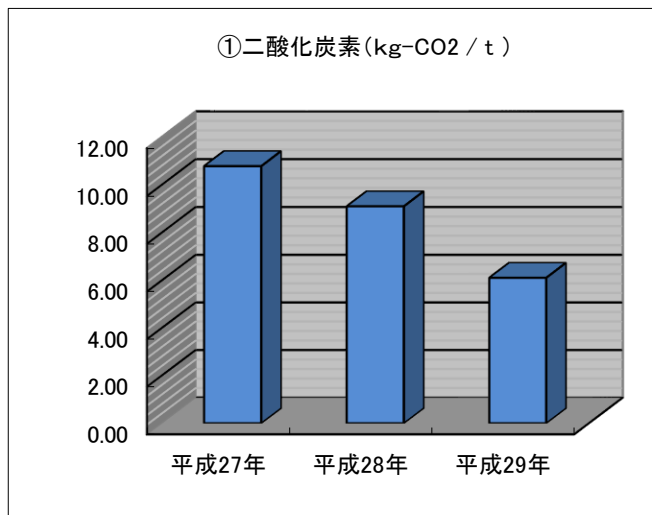
※ 購入電力の二酸化炭素総排出量の排出係数は、0.488(鈴与商事)を使用する。

※ 二酸化炭素排出量及び再資源化率の基準値は、原単位(産業廃棄物処理量1t当たりの量)で算出する。

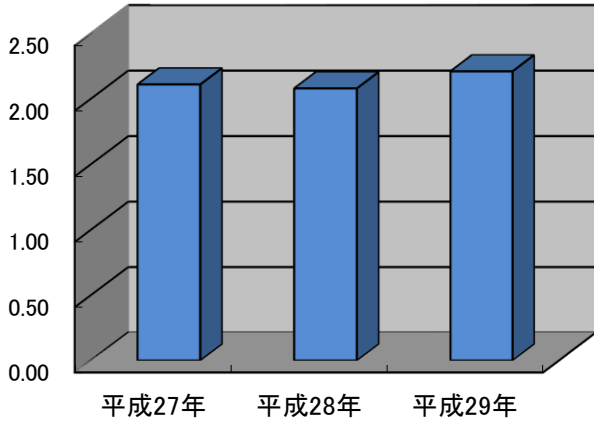
※ 平成28年度(基準値)の産業廃棄物処理量は、47,218.64tである。

※ 平成29年度(実績値)の産業廃棄物処理量は、70,526.86tである。

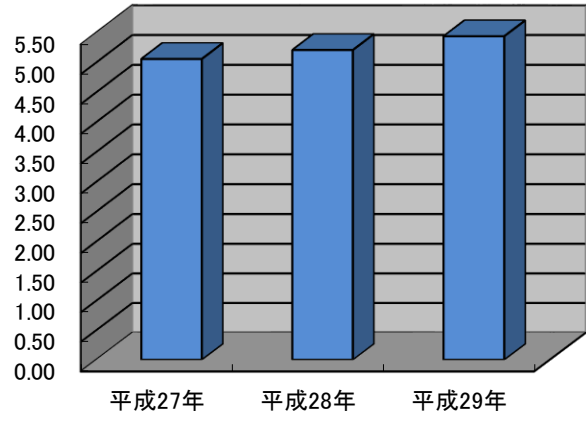
### 3 過去3年間の比較



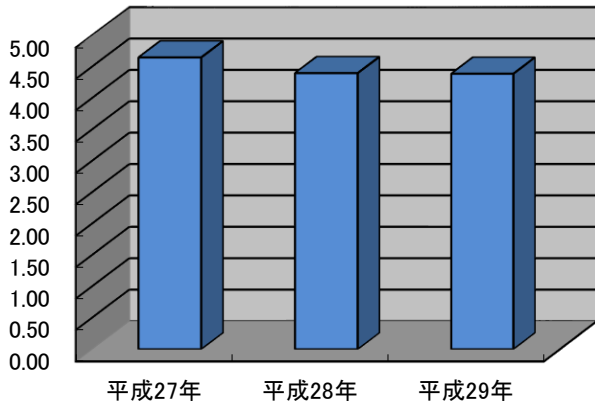
軽油 燃費(10tダンプ)(L)



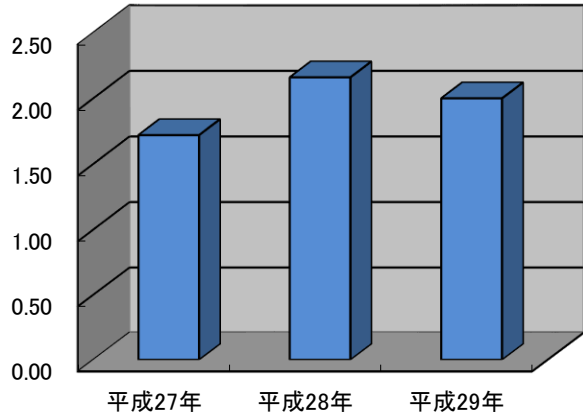
軽油 燃費(ユニック車)(L)



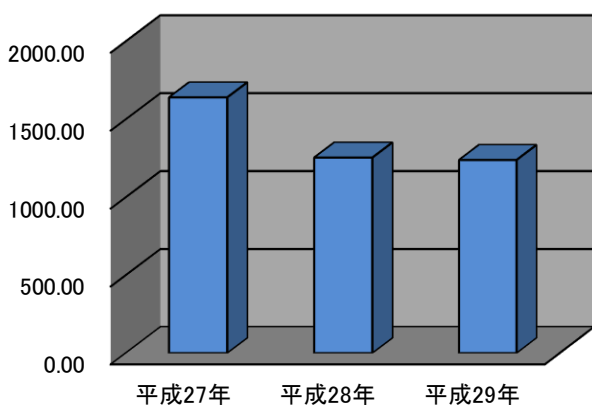
軽油 燃費(10tアームロール車)(L)



軽油 燃費(フックロール車)(L)



総排水量(m<sup>3</sup>)



## 5. 環境目標の達成状況評価

### ① 二酸化炭素総排出量の削減

購入電力 4.0%増加、ガソリン使用量 15.0%削減、軽油使用量 0.5%増加  
二酸化炭素総排出量も 0.3%増加という、前年とほぼ同じになりました。

原単位基準比も、購入電力 30.0%削減 ガソリン使用量 42.0%削減  
軽油使用量 32.0%削減と、全てにおいて目標達成することができました。  
引続き継続していきたいと思えます。

### ② 受入廃棄物の再資源化率の増加

前年に比べて、新東名工事関係の建設副産物(コンクリートガラ)の搬入が、  
多くあった為、再資源化率が、前回に比べてかなり増加しました。

### ③ 水使用量

井戸水を使用している為、活動のみとなりますが、前年よりもかなり削減  
されています。引続き継続していきたいと思えます。

## 6. 環境活動計画

### 環境活動計画

	取組目標	重点項目	実施事項	責任者	担当	スケジュール																					
						活動期間																					
						10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月										
1	二酸化炭素排出量削減	①購入電力削減	エアコンの温度設定(夏26℃ 冬23℃)	小島	櫻井																	→					
			使用していない部屋のエアコン電源OFF																							→	
			フィルターの定期清掃					→									→										
			休み時間の消灯の徹底																								→
			未使用部屋の照明消灯																								→
			不使用のパソコン電源OFF																								→
			水銀灯(工場内)照明の徹底																								→
			破碎機の休み時間・昼休みの稼働停止																								→
			未稼働時における破碎機の電源OFF																								→
			破碎機の定期点検・清掃						→									→									→
			プラント機械の休み時間・昼休みの稼働停止																								→
			未稼働時におけるプラント機械の電源OFF																								→
			プラント機械の定期点検・清掃																								→
			LED電球の導入検討																								→
		自動販売機の省エネ対策																						→			
		②化石燃料削減	エコドライブ(全車両)	小島	小島																				→		
			急発進・急加速の禁止																							→	
			計画的走行(無駄なルートをとらない)																							→	
			アイドリングストップ																							→	
			エアコン使用を控えるために																							→	
			無駄な操作、動作厳禁(作業構内)																							→	
			不要な荷物を降ろす																							→	
			タイヤの空気圧のチェック																							→	
			日常点検、定期点検																							→	
排ガス対応車への移行																								→			
低燃費車・ドライブレコーダの導入	小島	検討中																									
		新車購入時導入予定																									

	取組目標	重点項目	実施事項	責任者	担当	スケジュール																					
						活動期間																					
						10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月										
2	排水量削減	水使用量削減	計画的な散水を心がける	小島	吉牟田(政)																		▶				
3	廃棄物削減	①紙使用量削減	裏紙使用の徹底(コピー・メモ等)	小島	鈴木																			▶			
			封筒の再利用																							▶	
			印刷物の削減(ミスコピーを減らす)																								▶
		②グリーン購入の推進	エコキャップ運動の参加																							▶	
		グリーン購入の推進																					▶				
4	廃棄物リサイクル率向上	受託廃棄物のリサイクル率の向上	分別の徹底(処分場)	小島	櫻井																			▶			
			排出先の選定																							▶	
			電子マニフェストの導入																								▶
			回収先(顧客)への分別推奨																								▶



## 7. 環境活動計画の評価と次年度の取組内容

	取組内容	評価		今後の取組
		評価	内容	
	二酸化炭素排出量削減	○	全社員で取組むことができた。	継続
購入電力	エアコンの温度設定(夏26℃ 冬23℃)	○	全社員で取組むことができた。	継続
	使用していない部屋のエアコン電源OFF	○	全社員で取組むことができた。	継続
	フィルターの定期清掃	○	全社員で取組むことができた。	継続
	休み時間の消灯の徹底	○	全社員で取組むことができた。	継続
	未使用部屋の照明消灯	○	全社員で取組むことができた。	継続
	不使用のパソコン電源OFF	○	全社員で取組むことができた。	継続
	水銀灯(工場内)照明の徹底	○	全社員で取組むことができた。	継続
	破砕機の休み時間・昼休みの稼働停止	○	全社員で取組むことができた。	継続
	未稼働時における破砕機の電源OFF	○	全社員で取組むことができた。	継続
	破砕機の定期点検・清掃	○	全社員で取組むことができた。	継続
	プラント機械の休み時間・昼休みの稼働停止	○	全社員で取組むことができた。	継続
	未稼働時におけるプラント機械の電源OFF	○	全社員で取組むことができた。	継続
	プラント機械の定期点検・清掃	○	全社員で取組むことができた。	継続
	LED電球の導入検討	×	今回は導入せず。	検討
自動販売機の省エネ対策	○	省エネの機械を継続設置中。	継続	
化石燃料	エコドライブ(全車両)	○	全社員で取組むことができた。	引続き呼びかけをし、全社員で取組むようにする。
	急発進・急加速の禁止	○	全社員で取組むことができた。	継続
	計画的走行(無駄なルートをとらない)	○	全社員で取組むことができた。	継続
	アイドリングストップ	○	全社員に呼びかけた。	継続
	エアコン使用を控えめに	○	全社員で取組むことができた。	継続
	無駄な操作、動作厳禁(作業構内)	○	全社員で取組むことができた。	継続
	不要な荷物を降ろす	○	全社員で取組むことができた。	継続
	タイヤの空気圧のチェック	○	全社員で取組むことができた。	継続
	日常点検、定期点検	○	全社員で取組むことができた。	継続
	排ガス対応車への移行	○	全社員で取組むことができた。	継続
低燃費車の導入	○	ハイブリット車を購入。(営業車)	随時、車検(購入)時等で検討する。	

	取組内容	評価		今後の取組
		評価	内容	
2	排水量削減	○	全社員で取組むことができた。	今後も引続き、全社員に呼びかけ意識させる。
	計画的な散水を心がける	○	全社員で取組むことができた。	継続
3	廃棄物削減	○	全社員で取組むことができた。	今後も引続き、全社員に呼びかけ取組むようにする。
	裏紙使用の徹底(コピー・メモ等)	○	全社員で取組むことができた。	継続
	封筒の再利用	○	全社員で取組むことができた。	継続
	印刷物の削減(ミスコピーを減らす)	○	全社員で取組むことができた。	継続
	エコキャップ運動の参加	○	全社員で取組むことができた。	継続
	グリーン購入の推進	○	全社員で取組むことができた。	さらに、グリーン購入を推進するように呼びかけていく。
4	廃棄物リサイクル率向上	○	全社員で取組むことができた。	今後も引続き、全社員に呼びかけ取組むようにする。
	分別の徹底(処分場)	○	全社員で取組むことができた。	継続
	排出先の選定	○	全社員で取組むことができた。	継続
	電子Manifestoの導入	○	導入顧客を増やすことができた。	継続
	回収先(顧客)への分別推奨	○	全社員で取組むことができた。	継続

## 8. 問題点の是正処置及び予防処置の結果

対象項目	原因	是正及び予防処置
特になし		

## 9. 環境関連法規等への違反・訴訟等の有無

期間中の当該環境関連法規等への違反はありません。  
尚、関係機関からの違反等の指摘もなく、訴訟もありません。

作成日:平成 29年 6 月 1 日

承認日:平成 29年 8 月 1 日

廃棄物の収集運搬・処理・リサイクル法令							
環境法規制等の 名称/略称	規制内容			実施		文書・記録	確認
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	承認	【有資格者等】	
産業廃棄物法	産業廃棄物 収集運搬業	産業廃棄物 収集運搬	各許可証の通り	処理基準遵守	○		○
				契約書の締結	○		○
				マニフェストの確認処理	○	B2票を10日以内に搬出 事業者へ送付	○
				年間報告	○	毎年6月中に前年分の 報告をする	H29.6.26
				マニフェストの保管	○	B1票・C2票の5年間の 保管・帳簿データの保管	○
				許可の更新	○	【5年毎更新】 産業廃棄物収集運搬業 許可申請書	○
				変更時の届出	○	産業廃棄物処理業 変更届出書	○
				廃棄物の悪臭・ 飛散防止	○	車両荷台にシートを 被せる等	○
	投棄禁止	○	不法投棄を行わない	○			
	特別管理産業 廃棄物収集運搬	特別管理産業 廃棄物収集運搬	各許可証の通り	処理基準遵守	○		○
				契約書の締結	○		○
				マニフェストの確認処理	○	B2票を10日以内に搬出 事業者へ送付	○
				年間報告	○	毎年6月中に前年分の 報告をする	H29.6.26
				マニフェストの保管	○	B1票・C2票の5年間の 保管・帳簿データの保管	○
				許可の更新	○	【5年毎更新】 産業廃棄物収集運搬業 許可申請書	○
				変更時の届出	○	産業廃棄物処理業 変更届出書	○
廃棄物の悪臭・ 飛散防止				○	車両荷台にシートを 被せる等	○	
投棄禁止	○	不法投棄を行わない	○				

廃棄物の収集運搬・処理・リサイクル法令							
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実施		文書・記録	確認
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	承認	【有資格者等】	
産業廃棄物法	産業廃棄物処分業	中間処分	許可証の通り	処理基準遵守	○	日々の処理量の記録帳簿の作成、保管	○
				契約書の締結	○	契約書保管	○
				マニフェストの確認処理	○	運搬受託者へ10日以内にC2票の返却・排出事業者へD票を90日以内に返却・E票を180日以内に返却	○
				年間報告	○	毎年6月中に前年分の報告をする	H29.6.26
				マニフェストの保管	○	C1票の5年間の保管・帳簿データの保管	○
				許可の更新	○	【5年毎更新】産業廃棄物収集運搬業許可申請書	○
				変更時の届出	○	産業廃棄物処理業変更届出書	○
				二次マニフェストの処理	○	A票・B2票・D票・E票の5年間保存等	○
				保管場所の掲示	○	規定サイズの看板提示	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例【条例第10号】	産業廃棄物処理の委託先の実地確認・記録・保存		静岡県の排出事業者	委託契約締結前受託者の現地確認	○	確認の結果を記録	○
				契約後、毎年1回以上の処理状況の確認	○	確認の結果を記録	○
				処分場視察記録保管	○	5年間の保存	○
御殿場市一般廃棄物処理に関する条例				一般廃棄物の分別搬出	○		○
公害・環境法令							
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実施		文書・記録	確認
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	承認	【有資格者等】	
騒音規制法	産業廃棄物中間処理	中間処理施設	規制基準の遵守	特定施設設置届出書(第6条第1項)	○		○
振動規制法	産業廃棄物中間処理	中間処理施設	規制基準の遵守	特定施設設置届出書(第6条第1項)	○		○
環境基本法		中間処理施設		一般的な自主努力	○		○
地球温暖化対策推進法		中間処理施設		温室効果ガス抑制措置	○	自治体施策へ協力	○
循環型社会形成推進基本法		中間処理施設		3Rへの努力	○	廃棄物等のうち、有用な物の循環的な利用を促進	○
大気汚染防止法		中間処理施設		一般粉じん発生施設設置届出書(第18条第1項)	○		○
エネルギーの使用の合理化に関する法律		中間処理施設		エネルギーの使用の合理化に関する法律(第75条)	○		○
静岡県地球温暖化防止条例		中間処理施設		静岡県地球温暖化防止条例(第24条第2項)	○		○
浄化槽法			保守点検の実施	3ヶ月毎に一回	○		H29.7.31
グリーン購入法				環境物品の購入	○	事業者の一般的責務	○
フロン排出抑制法	産業廃棄物中間処理	車両建設機械・業務用エアコン	点検及び廃棄時の許可業者への引渡し	3ヶ月毎に一回	○	点検記録簿の保存	○

その他関連法令							
環境法規制等の 名称/略称	規制内容			実施		文書・記録	確認
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	承認	【有資格者等】	
道路運送車両法	収集運搬車両等の 点検メンテナンス	産業廃棄物 収集運搬車両	法定点検 (社内基準) による実施	車両点検表の 3年間保管	○	点検表の保存	○
労働安全衛生法	車両建設機械・リフト 等の点検メンテナンス	車両建設機械	自主検査(始業 前・月次点検) の実施	車両点検表の 3年間保管	○	点検表の保存	○
消防法		自家用 給油取扱所	3年毎の検査	予防規程制定(消防法 第14条の2第1項)	○	検査結果保存	○
大規模地震対策 特別措置法		自家用 給油取扱所		地震防災規程 (第8条第2項)	○		○
建設業法	建設業許可と更新 及び有資格者登録	解体工事	5年毎の更新及び 資格者登録	許可更新は5年毎	○	都道府県知事へ	○
建築基準法	構築物解体工事に 於ける規制	解体工事	書類の事前届出 基準の遵守	提出書類の遵守	○	該当自治体へ	○
建設リサイクル法	建設副産物の リサイクル	解体工事	解体工事-80㎡ 以上	工事計画書・実績報告	○	該当自治体へ	○

## 10. 代表者による全体の評価及び見直し

エコアクション21の取組開始から、7年目になりました。社員の意識も変わり、目標を達成することが出来ました。

今年度は 新東名工事関係の建設副産物(コンクリートガラ)の搬入は増加しましたが、産廃処理の方は、減少傾向で、全体的な売上も減少しています。

今後、産廃処理に関して単価の検討、離れていった顧客との交渉等営業活動の強化に力をいれていきたい。

平成 30 年 3 月 1 日

株式会社 アーバン  
代表取締役 織戸 卓祥 (印)